

1. 件名：電気設備の機器認定に係る新規 IAEA 文書に関する情報交換

2. 日時：令和5年7月6日(木)13時30分～14時30分

3. 場所：オンライン

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

皆川主任技術研究調査官

池田技術研究調査官

一般社団法人原子力安全推進協会：1名

MHI NS エンジニアリング株式会社：2名

5. 要旨

国際原子力機関では、原子力発電所の機器認定に関する新たな報告書作成の検討に着手しており、日本からは、一般社団法人原子力安全推進協会（以下「JANSI」という。）及び MHI NS エンジニアリング株式会社（以下「MHI NS」という。）が当該報告書作成に関する初回会合（6月下旬）に参加している。今回の面談では、JANSI 及び MHI NS より、作成する報告書を当初予定していた TECDOC から Safety Report への変更することも検討されていること、また、報告書には原子力発電所の設計拡張状態における機器認定の安全側面について記載される予定であること等、当該会合での検討結果の概要について説明を受けた。その後、当該報告書作成の中で、評価手法について検討する場合には、評価における裕度や評価期間の設定が主要な検討のポイントなるのではないかと、関連規格の改定動向との協調が必要ではないかといった点について意見交換した。今後、報告書作成作業の状況を踏まえ、必要に応じ、引き続き意見交換を行うこととした。

6. その他

資料：なし